

## 精神障害のある人の地域移行の推進

ポイント：精神障害者の地域移行・地域定着の確実な実施と、地域移行に向けた取り組みへのインセンティブの検討

### 【新規・拡充】

#### ○精神障害者の地域移行・地域定着事業の確実な実施

平成 21 年度より、地域体制整備コーディネーターを配置・拡充し、各圏域で医療と地域の連携、円滑な地域移行を目的として協議会の開催等を行うことにより、地域移行等の支援が円滑に行われてきたところである。

他方、厚生労働省の行政レビューでは地域体制整備コーディネーターの廃止や高齢入院患者地域支援事業の拡充の方向であるが、地域体制整備コーディネーターがこれまで果たしてきた役割も踏まえながら、各圏域における協議会等のメニューを継続していくとともに、遠隔地からの退院支援や高齢入院患者の支援の推進を図る。

#### ○地域移行に向けた取り組みへのインセンティブの検討

病院内の地域移行に向けた取組、地域との連携、退院に向けた会議への関係者の参加や退院後の訪問等を行うなど、精神障害者地域移行支援に積極的に取り組む地域の精神科病院に「地域移行・定着協力病院（仮称）」として協力してもらえるよう、インセンティブを与える仕組み作り・周知方法等について検討していく。

### （継続事業）

#### ○地域生活への移行の推進

精神障害者の地域移行において生活拠点の確保は特に重要な課題であり、グループホーム等の質・量的な充実は継続的に進めていく必要がある。

また、公営住宅の優先入居に取り組むとともに、賃貸住宅への入居支援制度について検討する。

#### ○精神科救急医療システム整備事業

精神疾患の急激な発症や精神症状の急変などにより、早急に適切な医療を必要とする精神科救急患者の相談を実施する。

また、入院を必要とする精神科救急患者や措置入院患者が速やかに入院できるよう、精神科病院に空床を確保するとともに、より円滑なシステムの運用を目指す。